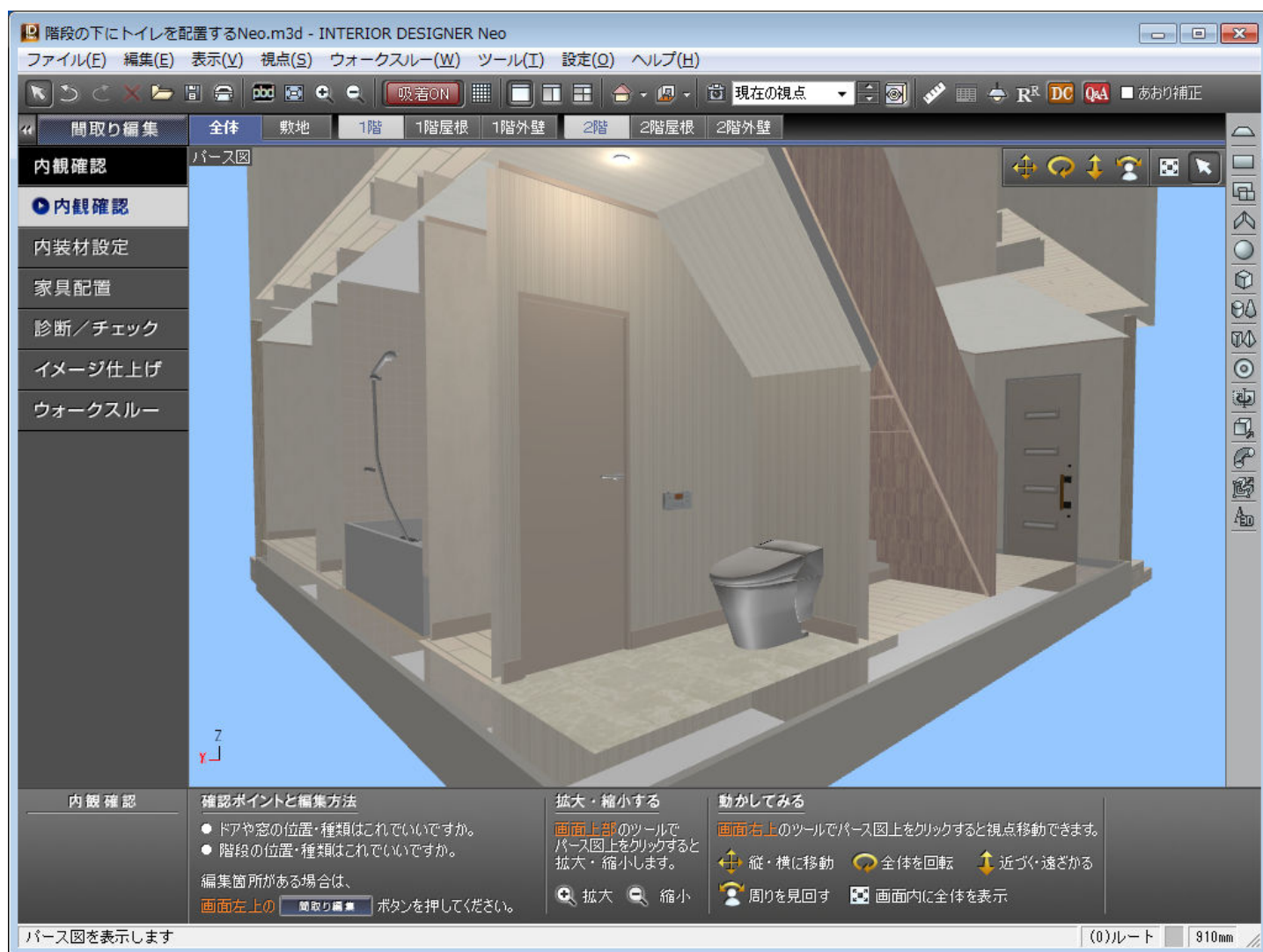


階段の下にトイレなどの部屋を配置する

階段下のスペースに、トイレや納戸などを配置する場合の手順をご案内します。

この作例では、直線階段の下にトイレを配置した後、階段が隠れるように斜め天井を作成します。

完成例



※「インテリアデザイナーNeo」で作成しております。

対象バージョン 3DマイホームデザイナーPRO7/PRO6/LS3、インテリアデザイナーNeo

操作の概要

操作1: 部屋、階段を配置します。

操作2: トイレの壁高さを設定します。

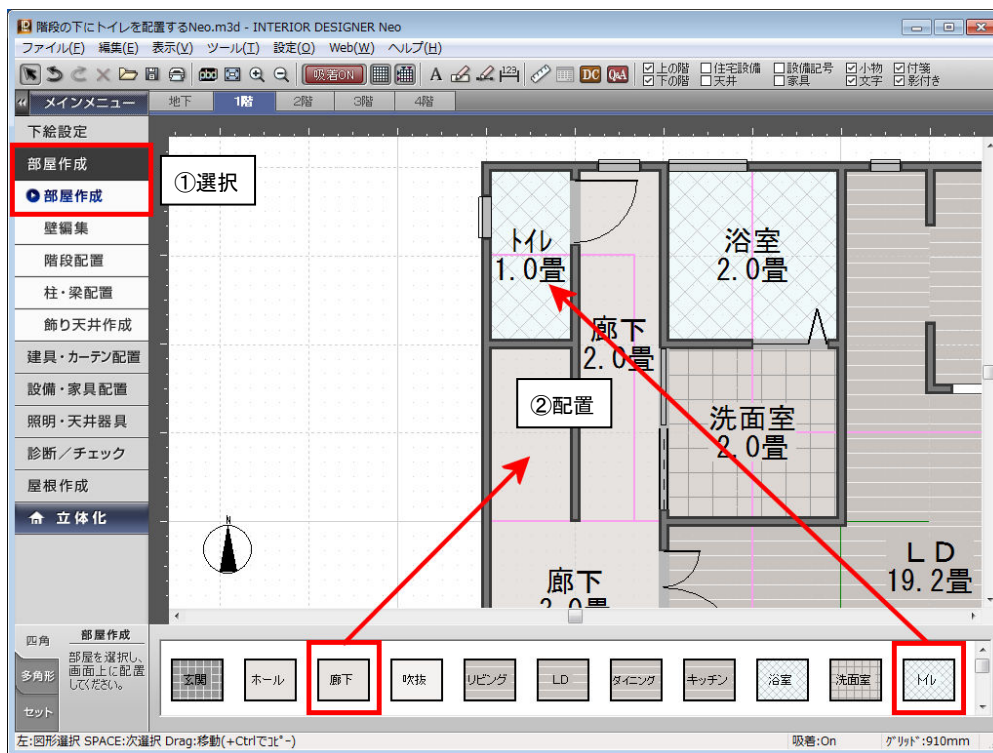
操作3: トイレに斜め天井を作成します。

※階段を斜めの天井で隠したい場合は「操作1」「操作2」終了後、「操作3」に進みます。

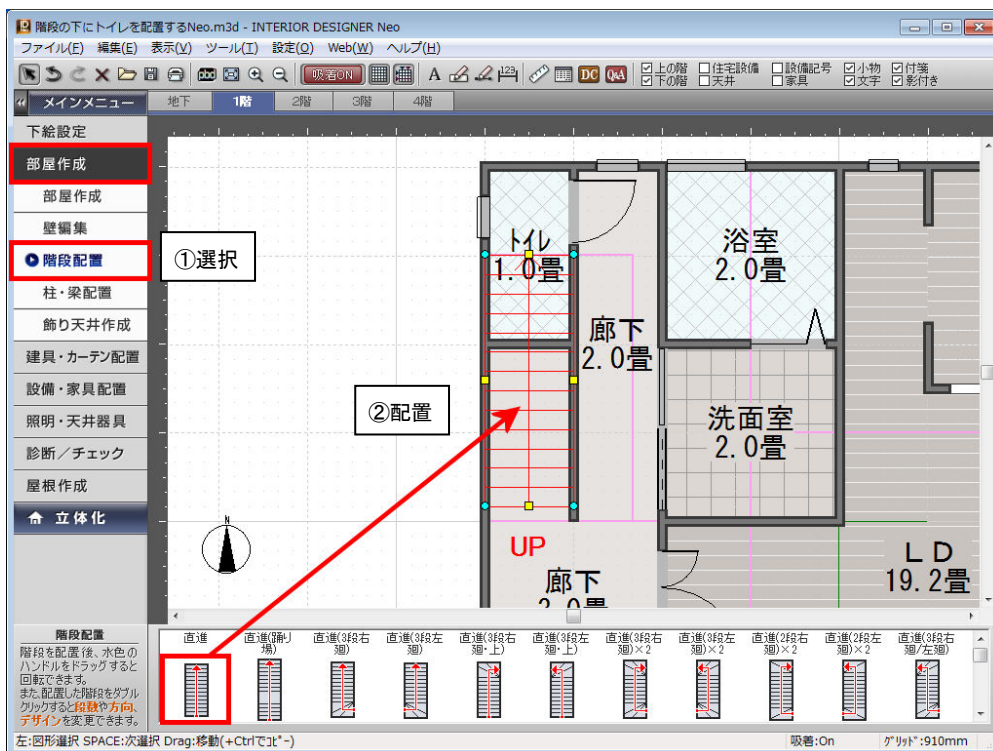
操作1

部屋、階段を配置します。

- 1) 階段を配置する前に、ナビの[部屋作成]－[部屋を作成]を選択し、必要な部屋を配置します。
この作例では、階段の下にトイレと廊下(多角形で入力)を配置します。



- 2) ナビの[部屋作成]－[階段を配置]を選択し、「直進」の階段を配置します。
この作例では、「直進」階段を配置します。



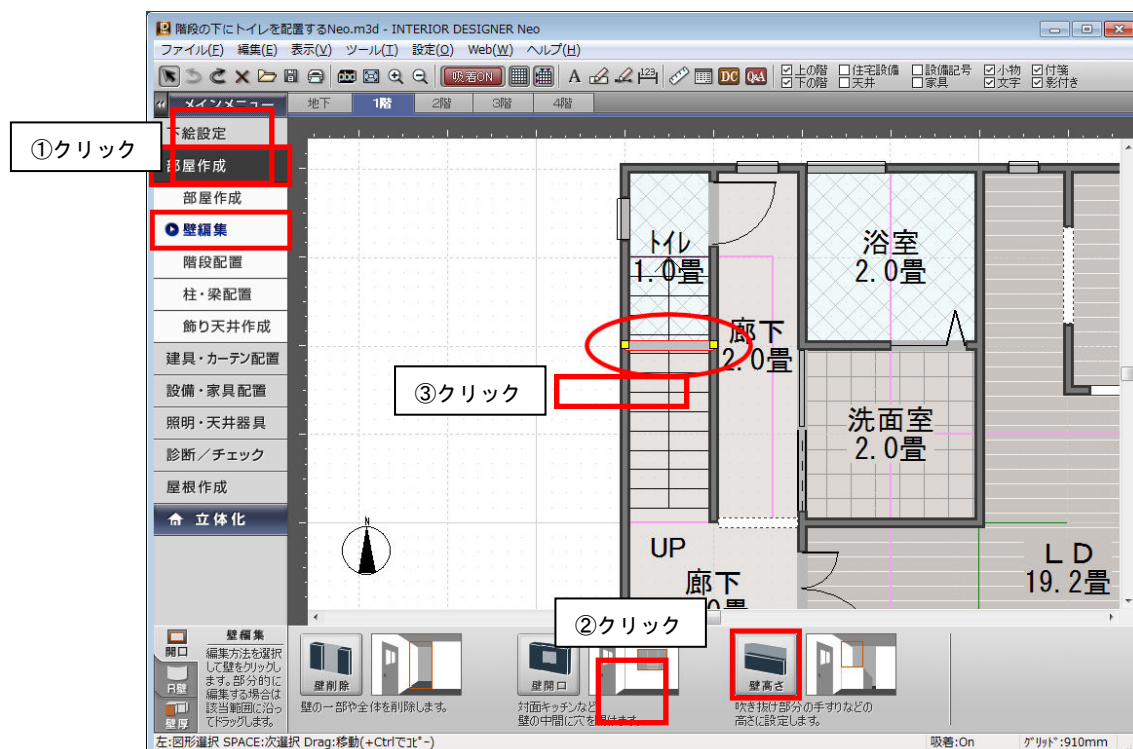
操作2 「トイレ」と「廊下」の間の壁高さを調整します。

階段の下には部屋が2つ配置されており、そのまま立体化すると、階段の途中に部屋の壁が飛び出てしまいます。
これを防ぐために、壁高さを設定します。

- 1) 階段をダブルクリックし、[直進階段のプロパティ]で「蹴上げ」の数値を控えておきます。(作例では「207 mm」)
また、「操作3」で斜め天井を配置するので、「勾配」の数値も控えておきます。(作例では「48.0 度」)



- 2) ナビの[部屋作成]－[壁を編集]を選択し、パレットの[壁高さ]をクリックしてトイレと廊下の間の壁をクリックします。

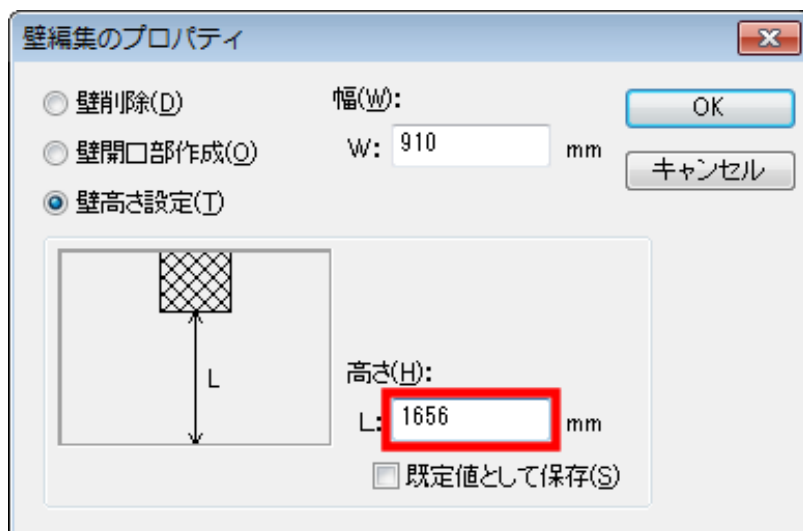
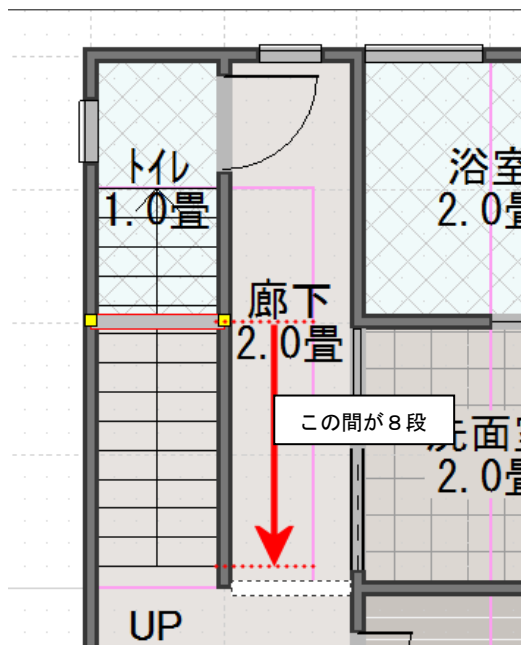


3) 続けて、設定した[壁高さ] をダブルクリックし、[壁編集のプロパティ]の「高さ」に数値を入力します。

トイレと廊下の間の壁が階段から飛び出さないようにするため、壁が階段と接するまでの高さを計算します。

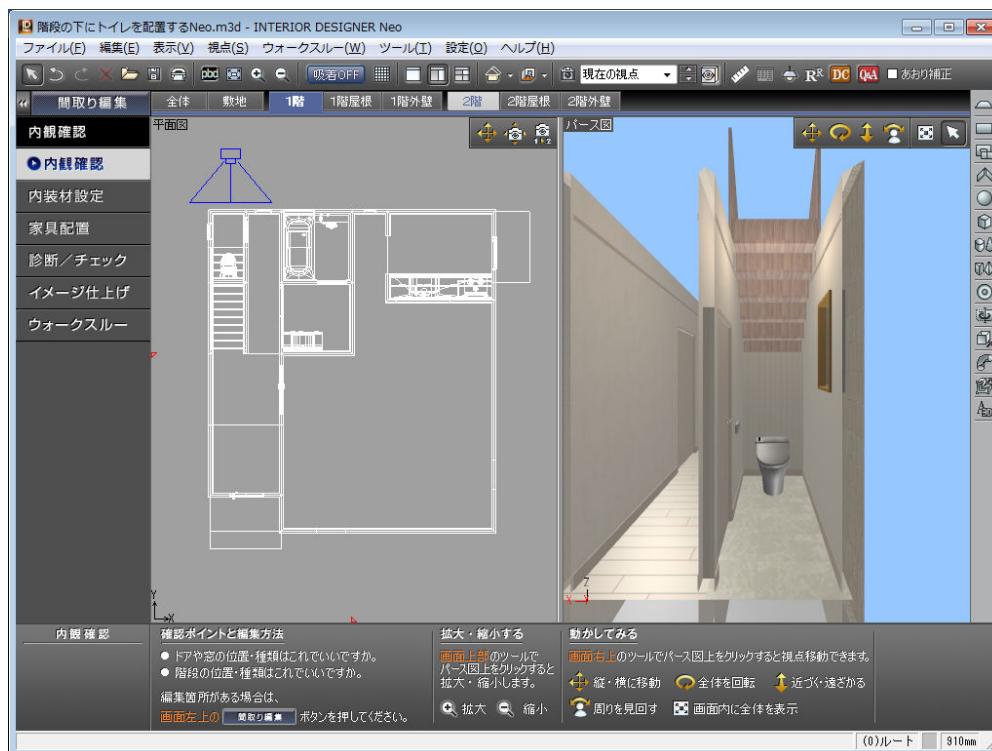
壁が階段と接するまでの高さ = 「蹴上げの高さ」×「階段の段数」-「踏板の厚み」となります。

※この作例では、207 mm×8 段-踏板の厚み(30mm) = 「1626」mm になります。



4) ナビの[設備・家具配置] - [住宅設備]を選択し、トイレの部屋に[洗面・トイレ]タブからトイレ(便器)を配置します。

5) 立体化して、トイレの内部を確認します。

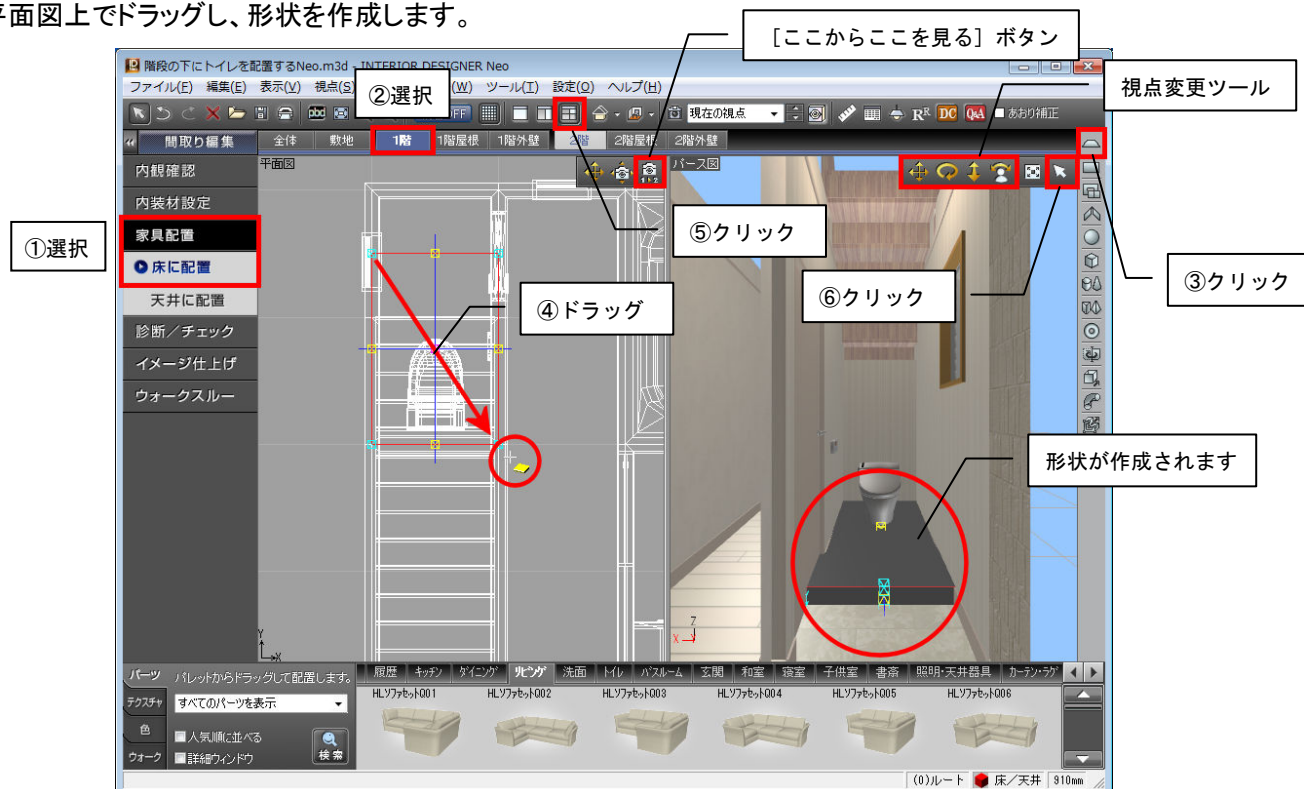


操作3

トイレに斜め天井の板を作成して配置します。

階段を斜め天井で隠したい場合は、[形状作成ツール]で天井板を作成します。

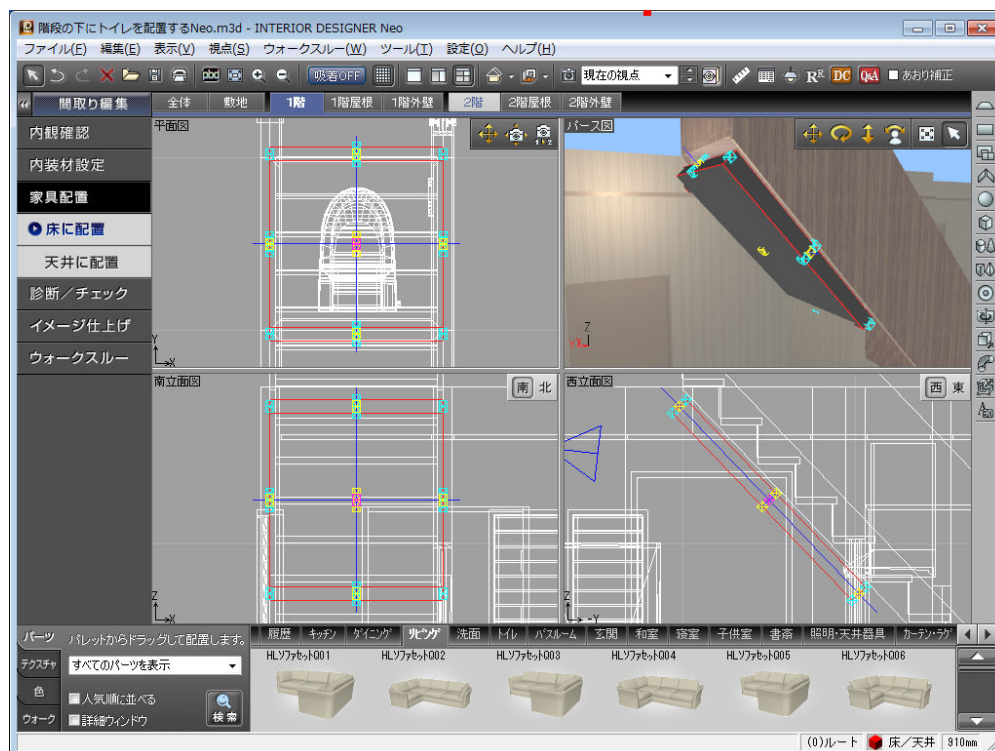
- 1) ナビの[家具配置]ー[床に置く]を選択し、フロアタブの[1階]を選択します。
- 2) 平面図上でトイレ付近を拡大表示し、[ここからここを見る]ボタンや[視点変更]ツールを使って、パース図もトイレの内部が見えるように画面を調整します。
- 3) [形状作成]の[床・天井]ツールをクリックします。
- 4) 平面図上でドラッグし、形状を作成します。



- 5) [四面図表示]ボタンをクリックして、3D画面を四面図に切り替えます。
- 6) [選択]ボタンをクリックしてから作成した形状をダブルクリックします。
- 7) 「直方体プロパティ」で、「高さ」に天井の厚みにあたる数値を入力します。
※ここでは、天井板の厚みとして「100mm」としています。
- 8) 「操作2」の1)で控えておいた勾配の角度を「RX」に入力します。
※部屋の向きによっては、「RY」に角度を入れる場合があります。



9) 画面で確認しながら、天井板をドラッグして、板の長さや高さ、配置位置を調整します。



天井板にテクスチャや色を貼り付けて完成します。

